

京都の特性生かす



全国にある空き家は現在、約800万戸ともいわれる。こうした中、京都市北区の㈱フラットエージン

不動産活用を提案 寺社の資産も管理で実績

㈱フラットエージェンシー

特性を生かし、最近では、空き家になった分野に力をいれた京町家を購入し、改修した上で貸し出す「リノベーション」事業や写真の古い不動産の改修前、改修後のほか、女子学生を対象にした独自のシェアハウス「シェアフラット」の提供、外国人専用店舗の開設などで実績を伸ばす。いずれも京都の土地柄や魅力を生かした事業展開で、オーナーと居住者の双方から好評だ。

同社は昭和49年の創業で、京都市内を拠点にマンションや駐車場の賃貸仲介・管理などを手掛ける。寺社向けには、駐車場や借家の管理など従来型にニーズに加え、信託方式を利用して不動産を保全する新しいケースも視野に入れる。寺社が提供される借地や借家は長期にわたり貸し出されることも多く、賃料の更新や老朽化した際の改修が難しいとされ、不動産活用に関する寺社からの相談も増えているという。

「地域に密着し、オーナーさんと共に良い町づくり、景観づくりを目指していきたい」と同社の吉田光一社長。同社に不動産活用を任せているオーナーは町づくりへの関心が高いといい、資産価値を高めながら快適な都市居住の在り方を追求していく考えだ。

エンシーでは、京町家の再生・活用や寺社所有不動産の管理など、京都の千台。00戸、ガレージは約200戸まで。

問い合わせは同社電話075(451)15